

明治期から昭和50年代に撮影

支笏湖畔 懐かしの情景

【支笏湖畔】明治期から昭和50年代にかけて支笏湖と湖畔で撮影された貴重な写真を集めた「ナツカシッコ写真展」が、丸駒温泉旅館が運営する支笏湖温泉街の飲食店「メメール」と、支笏湖ビジターセンターで開かれている。

(中川渚)



「山線鉄橋」以前に設置されていた木橋の写真などが並ぶ「ナツカシッコ写真展」 支笏湖温泉街のメメール

温泉街飲食店などで展示 「歴史語り継ぎたい」

新型コロナウイルス感染拡大の影響で近場の旅行が注目される中、支笏湖地域の歴史や魅力を市民に再発見してもらおうと、メメールの営業担当佐々木靖治さん(33)が企画した。

1994年に地元青年グループ「恵岳会」が同センターで写真展を開いた際、支笏湖小や漁協、地元住民などから集めた写真60枚を再構成した。

メメールの2階には、72年に札幌冬季五輪のスキー滑降競技会場になった恵庭岳のコースや「山線鉄橋」以前に設置されていた木橋など白黒写真26枚が並ぶ。

同センターには、最盛期の千歳鉱山住宅街やチップ釣りでにぎわう支笏湖など27点を展示した。

メメールで会場の案内を担当する佐々木さんは支笏湖畔で生まれ育ち、「支笏湖の歴史を語り継いでいきたい」と話している。

展示はビジターセンターが30日、メメールが来年2月23日まで。入場無料。